

『【新レベル表対応版】QC検定受検テキスト1級』正誤表
第1刷～第12刷

No.	頁	行 箇所	誤	正
1	54~57 64	該当箇所	工業標準, 工業標準化, 日本工業規格 (JIS)	産業標準, 産業標準化, 日本産業規格 (JIS) ※名称が変更されたため修正
2	54,55	該当箇所	鋳工業品	鋳工業品およびデータ, サービス, 経営管理
3	56	下 9行目	一定水準の品質、性能を有する鋳工業品を安定して製品することが可能な技術的能力を有する工場に対して、JISマークの表示を認定する制度	一定水準の品質、性能を有する鋳工業品等を安定して提供することが可能な技術的能力を有する事業者に対して、JISマークの表示を認定する制度
4	116	図6.1 図中の 数値	$n=4$	$n=5$
5	117	上 8行目	N が相当大きければ	$\frac{x}{n} \leq 0.1$ であれば
6	145	図8.4 縦軸	確率 $f(x)$	確率密度関数 $f(x)$
7	147	図8.5 縦軸	確率 $f(x)$	確率密度関数 $f(x)$
8	147	図8.5 図中	$\lambda = 2$	$\lambda = 0.5$
9	175	上 2行目	$\sum V_i = V_1 + V_2 + V_3 + V_4 =$	$\sum V_i = V_1 + V_2 + V_3 + V_4 + V_5 =$
10	228	上 4行目	LTPD : Lot Tolerance Percent Defective	LTPD : Lot Tolerance Percent Defective
11	256	下	計算補助表(表12.4, 表12.5参照)	計算補助表(表12.14, 表12.15参照)

		3行目	を作成する.	照)を作成する.
12	267	下 1行目	$=12.125 \pm 3.494 = 12.631, 15.619$	$=12.125 \pm 3.494 = 8.631, 15.619$
13	304	下 8行目	$\hat{\sigma}_L^2 = \frac{V_L - V_M}{mn} = \frac{41.34 - 4.25}{4} = 9.273 = (3.05)^2$	$\hat{\sigma}_L^2 = \frac{V_L - V_S}{mn} = \frac{41.34 - 4.25}{4} = 9.273 = (3.05)^2$
14	332	上 4行目	$= -\frac{(78.7 + 70.8 + \dots + 75.7)(68 + 33 + \dots + 54)}{30} = 492.58$	$= -\frac{(78.7 + 70.8 + \dots + 75.7)(68 + 33 + \dots + 54)}{30} = 492.58$ 頭の等号削除
15	343	上 9行目	$\hat{\beta}_0 \pm t(28, 0.05) \sqrt{\left(\frac{1}{n} + \frac{\bar{x}^2}{S_{xx}}\right) V_e}$	$\hat{\beta}'_0 \pm t(28, 0.05) \sqrt{\frac{V_e}{n}}$
16	350	上 12行目	2変数関数	このとき、 $S_{21} = S_{12}$ に注意しよう。2変数関数
17	350	上 15行目	$\begin{cases} \frac{\partial}{\partial b} Q^*(b, c) = 2(S_{11}b + S_{12}c - S_{1y}) \\ \frac{\partial}{\partial c} Q^*(b, c) = 2(S_{21}b + S_{22}c - S_{2y}) \end{cases}$	$\begin{cases} \frac{\partial}{\partial b} Q^*(b, c) = 2(S_{11}b + S_{12}c - S_{1y}) \\ \frac{\partial}{\partial c} Q^*(b, c) = 2(S_{21}b + S_{22}c - S_{2y}) \end{cases}$
18	350	上 19行目	$\Delta = S_{11}S_{22} - S_{12}^2$	$\Delta = S_{11}S_{22} - S_{12}S_{21}$
19	350	上 19行目	$S^{12} = -S_{12}/\Delta$	$S^{12} = S^{21} = -S_{12}/\Delta$
20	352	上 13行目	$= \hat{\beta}_1^2 S_{11} + \hat{\beta}_2^2 S_{22} + 2\hat{\beta}_1\hat{\beta}_2 S_{12}$	$\hat{\beta}_1^2 S_{11} + \hat{\beta}_2^2 S_{22} + \hat{\beta}_1\hat{\beta}_2 S_{12} + \hat{\beta}_2\hat{\beta}_1 S_{21}$
21	352	上 14行目	$= \hat{\beta}_1(\hat{\beta}_1 S_{11} + \hat{\beta}_2 S_{12}) + \hat{\beta}_2(\hat{\beta}_1 S_{12} + \hat{\beta}_2 S_{22})$	$= \hat{\beta}_1(\hat{\beta}_1 S_{11} + \hat{\beta}_2 S_{12}) + \hat{\beta}_2(\hat{\beta}_1 S_{21} + \hat{\beta}_2 S_{22})$
22	355	下 6行目	$r_{x_1y} = \dots = -0.633$	$r_{x_1y} = \dots = -0.663$
23	361	上 7行目	実際には、これらの変換の妥当性は、モデルの適合性として14.5.3項の手法で確認されることが多い。	実際には、これらの変換の妥当性は、14.5.3項の手法を用いて実データでの適合性で評価されることが多い。
24	367	上 13行目	予測値 \hat{y}_1	予測値 \hat{y}_i
25	367	上 14行目	$\hat{y}_1 = h_{i1}y_1 + \dots + h_{in}y_n$	$\hat{y}_i = h_{i1}y_1 + \dots + h_{in}y_n$
26	367	下	$h_{ii} \geq 2(p+1)$	$h_{ii} \geq 2(p+1)/n$

		3行目		
27	379	表 15.4 注の1行 目	$D^2:2$ 群のマハラノビスの距離	$D^2:2$ 群のマハラノビス距離の 2 乗
28	381	上 3~4行目	～と判定している個数 n_{12} と, ～ 個数 n_{21}	～と判定している個数 n_{21} と, ～ 個数 n_{12}
29	383	下 3行目	以上より, 等分散の場合には,	以上より等分散の場合には, z の 式中の μ_A, μ_B に \bar{x}, \bar{y} を代入して,
30	384	上 2行目	それぞれの分散 σ_A^2 と σ_B^2 に標本分散 V_A, V_B を代入して...	母分散 σ_A^2, σ_B^2 に標本分散 V_A, V_B を代入して...
31	388	上 17行目	$\sum \{(\text{固有ベクトル})\}$ × (規準化された各特性データ)	$\sum_j (\text{固有ベクトル})_j$ × (規準化された第 j 特性値データ)
32	405	下 8行目	$F(t) = \Pr(T > t) = 1 - R(t)$	$F(t) = \Pr(T \leq t) = 1 - R(t)$
33	405	下 10行目	$R(t) = \Pr(T > t) = \int_t^\infty f(t)dx$	$R(t) = \Pr(T > t) = \int_t^\infty f(x)dx$